

ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう

令和5年11月

冬期間はノロウイルス感染症が流行します。**少量のウイルスで急性胃腸炎を引き起こす感染力の非常に強い菌です。**症状が見られる場合は重症化を防ぐため速やかに受診し、センターにご連絡下さるとともに、他の利用者様への感染を防止するためにセンターのご利用はお休み下さるようご理解とご協力をお願いいたします。

感染経路は？

- ・カキ等の二枚貝の生食
- ・ノロウイルスに汚染された食品や器具
- ・感染者の嘔吐物や便
- ・ヒトからヒトへ飛沫
- ・汚染された井戸水等



潜伏期間・症状は？

- ・潜伏期間 通常 24～48 時間
- ・症状 おう吐、下痢、腹痛
吐気、発熱(軽度)
- ・通常は 2～3 日

予防は？

- ・食事前やトイレ後は、流水とせっけんで指先や指の間手首まで丁寧に洗う
- ・生食を控える
- ・ノロウイルスは 85 度以上の加熱を 1 分以上すると感染力が失われます
- ・おう吐物や便の後始末する時は使い捨てのマスク、手袋、エプロンを着用する



当センターでは、この時期に嘔吐や下痢をした場合は感染の拡大を防ぐために、**ノロウイルス感染症と同じ対応**をとらせていただきます。

おう吐や下痢で汚れた衣類等は感染源となります。**廃棄もしくは専門業者にクリーニングで処理(有料)して**もらうことを推奨しておりますのでご相談下さい。

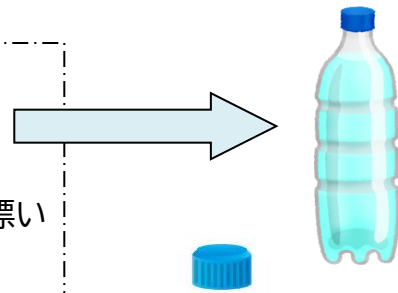


ノロウイルスの感染を広げないために

おう吐物の処理の仕方

- ①使い捨てマスク、手袋を着用します
- ②塩素系ハイター液を作ります ※参考にしてください
- ③嘔吐物が乾燥しないようペーパータオルや雑巾でおおいハイター液を静かにかけます(嘔吐物が乾燥すると空中を漂い菌が口の中に入って感染することがあります)
- ④嘔吐物を外側から内側に集めていき、ビニール袋に入れます
- ⑤ハイター液で静かに拭き取り、その後水拭きします
- ⑥嘔吐物や、拭き取ったペーパータオル、手袋、マスクなどはビニール袋に入れ密封して捨てます
- ⑦終わったら流水とせっけんできていねいに手を洗います

※従来ノロウイルスにアルコール消毒の効果はありませんでしたが、近年では有効なアルコール製剤も商品化されてきています。



500 ccのペットボトルに水を500 cc入れる。

ペットボトルのキャップで2杯ハイターを入れる。(10 cc)

食器・衣類などの消毒の仕方



- ・食器等は食後ハイター液に十分に浸してから洗う
- ・衣類やリネン類は嘔吐物が飛び散らないよう洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いします(その際は感染予防のためしびきを吸い込まないように注意してください)
下洗した衣類やリネン類の消毒は85℃で1分間以上の熱水洗濯が適していますが、できない場合はハイター液の消毒が有効です
ただし、色落ちは覚悟してください
- ・食器も衣類も他の家族のものと分けて洗う
- ・おう吐物を洗った場所も最後にハイター液で消毒する

※ご不明な点がございましたら、いつでもお問い合わせください

お問い合わせ先 藤崎町社協デイサービスセンター 電話 65-4071